

運動会が終わり、ちょっと一息！秋の自然を楽しむのに、よい季節がやってきます。少しずつ街路樹の葉っぱも色づき始め、私たちの目を楽しませてくれています。子どもたちも豊かな吉美の自然を存分に楽しみたいと思います。

季節が進めば、気をつけなければいけないのが子どもの体調！特に気温差が大きいこの時期は、喘息傾向のある子は咳が出たり、肌の弱い子は湿疹や乾燥肌でかゆみが出たり・・・また、いろいろな病気も流行しやすい時期に入ってきます。子どもは体調の異変を言葉で伝えることが難しく、周りの大人が注意し、早めに気づくことが大切です。いつもと違う様子が見られた時は、子どもからのサイン！そのサインをしっかりとキャッチし、早めに受診するなどの対応をしましょう。

今月は目についてと、流行しているRSウイルスについて取り上げてみたいと思います。

RSウイルス感染症

潜伏期間：2～8日

感染経路：飛沫感染・接触感染

主な症状：鼻水・咳など、風邪のような症状
ゼーゼーと息をして（喘鳴）、重症
になると呼吸困難に・・・

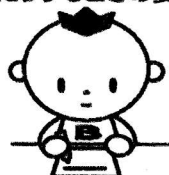
合併症・・・細気管支炎・肺炎・中耳炎

《 おうちでのケア 》

- *乳児は、少しでも栄養や水分がとれるようにしましょう！
- *嘔吐や下痢を繰り返している時は、脱水症状を起こさないように、水分補給をしましょう。
- *適度な室温と湿度を心がけましょう。
- *体温や体に異常がないか、こまめに確認しましょう！

生活の見直し

絵を書いたり、絵本を見たりするときの姿勢。



前髪は目にかからないように。



戸外で遊び、体も目もリラックス。



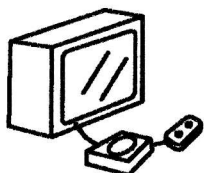
照明の明るさに気を付ける。



緑黄色野菜を食べる。



ゲームは長時間しない。



汚い手で目をこすらない。



溶連菌感染症について

感染経路：飛沫感染

主な症状：のどの痛み・高熱・嘔吐・腹痛・頭痛など（体や手足に発疹等
舌はイチゴのようなブツブツ）

予防方法：手洗い・うがい

注意：再発することがあります。また、薬を最後まで服用しないと、リウマチ熱や腎炎を起こすこともあります。

このような症状はありませんか？

- 目を細めたり、横目でテレビを見ようとしている。
 - 顔を近づけて本を見たり、首を傾けてものを見たりする。
 - まばたきが激しかったり、目やにが出ている。
- ※このような症状があれば、一度眼科の医師の診断を受けてみたほうがいいでしょう。